

久斗山地区公民館だより



令和2年
1月号

23日発行

久斗山地区公民館

ご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。

元旦から積雪も無く、例年より暖かな、まさに新春と呼ぶにふさわしい年明けとなりました。今年の冬は特に温暖で、山にも雪が少なく、スキー場も困っているようです。交通の便や、雪かきをしなくてもいいので楽ですが、まったく雪が無いと但馬の冬らしくありません。このまま春になると困ることも…来月にはなんとか雪が積もって欲しいです。

【謹賀新年 今年も一年、良い年でありますように！】

元旦ではありませんが、1月6日、鳥取県の大山に登って初日の出を拝んできました。



大山の山頂(標高1,709m)東の空、午前7時20分。雲海の彼方から日が昇りました。今年も、良い年でありますように！

【新年の恒例行事】

（とんど焼き） 1月7日（火） 午前6時に着火

お正月の間、神棚や玄関先などに飾られていたしめ縄などをもち寄り、燃やして一年の感謝と家内安全を祈願します。昔は15日に行われていました。この日の朝は七草粥で、とんどの火であぶって持ち帰った鏡餅をお粥に入れる家もあります。また、書初めの習字を炎の勢いで高く飛ばすと、字が上手になると言われています。

例年なら積雪があって雪が降ることもあるのに、今年は雪も全然無くて、よく燃えました。でも、習字を飛ばす人はいなかったな…

また、この日の夜は、集会所で“おひまち”がありました。10名ほどの参加があり、神主さんに一年の家内安全をご祈禱していただきました。

（数珠繰り） 1月16日（木） 午後1時より

「じゅ～ずくり、なんまいだ～」そう唱えながら、大きな数珠を持った子ども達が村の家々を回っていました。子どもの人数が減ったので、今年から老人会と一緒に集会場での開催しました。子ども8人、大人22人が集まり、長さ約8mの大数珠を手に、輪になって鐘の音に合わせて回していきます。房の部分で頭や体の悪いところをなでると良くなると言われがあり、自分のところにろに房がくると頭や足をなでていました。

今年は雪がなく
よく燃えました



房で頭をなで
ると賢くなる



【5年に一度、2020年農林業センサスの実施】

農林水産省が5年に一度、国内の農林業の実態を調査している「農林業センサス」(国勢調査の農林版)が1月後半から2月始めにかけて実施されます。調査員が各農家を訪ねて、農林業の状況をお聞きし、必要に応じて調査票への記入をお願いし、後日、回収させていただきます。久斗山・境地区、それぞれ調査員がお訪ねしますので、ご協力、よろしくをお願いします。

【第13回くとだに卓球大会の開催】

冬場は雪が積もる地域は、屋外のスポーツはスキーなどに限られてきます。そこで屋内のスポーツとして卓球！昔は地味で目立たなかったけど、近年は注目度もアップして、今年はオリンピックもあって、さらに関心が高くなっています。

1月12日(日)、午前9時より浜坂東小学校の体育館でくとだに卓球大会(スポーツ21くとだに主催)が開催され大人と子ども、多くの参加者がありました。



卓球部の生徒と大人の対決。緊迫した試合が繰り広げられた

【令和初の新成人、中村くん、山本くん おめでとう!】

新温泉町における令和最初の成人式が、1月12日(日)午後1時より、新温泉町多目的ホールで開催されました。

成人対象者(平成11年4月2日~平成12年4月1日生れ)は159名。この日集まったのは129名でした。久斗山では中村大智さんと山本航平さんの2人が成人になりました。

地元勤める7人の実行委員でプログラムが進行され、式典では町長や教育長、来賓から祝辞があり、さらに新成人の誓いの言葉やお世話になった先生方の祝電なども披露されました。その後で宇津野神社の麒麟獅子舞が門出を祝う舞をし、記念行事として女優で但馬の観光大使の河合美智子さんより、新成人への激励の講演がありました。

町の未来を背負う新成人に、心よりエールを贈ります。



上:女優の河合美智子さんの講演
左:新成人(倉田さん・山村さん)による誓いの言葉

○令和2年 2月の行事

3日(月) 節分 豆まき

8日(土) かまくらまつり(13:00~15:00) 上山高原ふるさと館

9日(日) かんじきはいきんぐ(海上、午前9:00~) 上山高原ふるさと館

22日(土)~24日(月) 豊岡市 三原高原冬のキャンプ(子ども夢基金・NPO法人但馬自然史研究所)



ジオsen.s(センチメンタル)の行事

「冬芽観察会」

◎開催日:令和2年2月29日(土)
9:00~14:00

◎集合:上山高原ふるさと館
◎料金:1000円(かんじきレンタル料含む)

【内容】

かんじきを履いて冬芽を観察に行こう。植物の冬の過ごし方の秘密に迫ります。

お弁当持参・服装はスキーウェア

【問い合わせ・申込み】

giosen.s.tankyu@gmail.com
090-3688-4200(担当:松岡)



水色の可愛い花だけど....
(上が実、犬のふぐりに似てる)。

今月の野草
オオイヌノフグリ

春の田んぼや畑に行くとき、緑の絨毯のように覆った草に、色の小さな花が咲いていて、グリの花の名前はオオイヌノフグリといいますが、名前の由来は、花が終わったあとにつく実が、犬の陰囊に似ているところから(犬犬のふぐり)。

すが、なんとも可哀な名前を付けられたものです。

かかってに昔話 (第一話)
池ヶ平の大蛇 作、いつこう

久斗山の村から一里(約四キロ)つづら谷の谷を源流まで詰めた、さらに先に「池ヶ平」という村があります。山に囲まれた盆地の底に十戸に満たない家が集まり、村の中ほどから泉が湧いていて、その周りにわずかに田畑が広がっていました。この村、その名前にあるように、昔は大きな池があったんですが、今はありません。

池はどうして無くなったのか?今回はその秘密と、それにまつわる悲しい恋のお話です。

男の子の直と、二つ年が下の女の子の直と、池ヶ平という山の中、毎日ずっと一緒に遊ぶ仲良しでした。直は動物が好きで、さやはお花が好きで、二人は四季を通じてよく連れだって里山に登り、一日中楽しい時間を過ごすのでした。

月日は流れ、直は十八、村一番の働き手になり、さやは十六、村一番の美しい娘に成長しました。直は、さやが大好きでした。幼い頃に父親が死に、女手だけのさやの家の農作業は、直がずっと手伝ってききました。そんな直を、さやもずっと慕っており、いざいざ二人は所帯を持つだろうというころとは、村人みんなが思っていました。

池ヶ平の村の近くには、ずっと昔に山崩れ落ちた巨石が谷をせき止めてきた、大きな池がありました。碧く水を湛えた池には、いつの頃からか大蛇が棲みついていました。ある日、池に水を汲みにきたさやを目にした大蛇は、さやの美しさに一目惚れしたのです。(つづく)